

生活科だより執筆について

- ねらい 1つの単元実践における具体的な実践報告を行う。1つの技術，内容を重点的に扱い研修の成果を県下に広める。
- 生活科だよりで，担当して頂く「技術」や，「内容」について次に示す今年度香生研研究の視点の中から選んでご提案を頂きたいと考えています。

視点1 基本教材による「習得」の学習

- ・人間認識による新しい知的な気付き（規範意識を含む）
- ・学び方を獲得する学習
- ・振り返り学習による学びの深まり
- ・時間認識の育成
- ・空間認識の育成

視点2 活用にかかわる思考力・判断力・表現力の育成

- ・ワークブックの有効な使い方
- ・思考操作活動を生かす表現物の工夫
- ・生活科ノート（総合的学習ファイル）作りのアイデア
- ・気付きを比較，分類，関連付ける思考を促す支援

視点3 伝え合う力を育む言語活動の充実

- ・グループ交流，ペア対話の在り方
- ・思考操作活動を生かす表現物の工夫
- ・エンカウンターによる学び合い

視点4 ルーブリックとポートフォリオによる授業評価の充実

- ・評価基準作成による子どもの評価活動
- ・振り返り学習による自己評価
- ・表現物の工夫による自己評価力の育成
- ・ポートフォリオと凝縮ポートフォリオ
- ・自己評価カードのによる自己評価力の育成

視点5 規範意識を育む幼・小連携交流の推進

- ・協同性を育てる集団と個のかかわり
- ・「規範意識」の育ちの研究
- ・3交流2活動の在り方

3 形式及びプロットについて

(1) 形式について

・用紙について

A4縦4枚

文字数 縦45×横42（標準をこれとするが、

周囲余白1.5cm

場合によっては、これを超えても良い）

・文字サイズ及びフォントについて

内容，技術名（タイトル）については，16ポイント（ゴシック）

各プロットは，14ポイント（ゴシック）

本文は，10.5ポイント（明朝）

1 趣旨

○○○○○○○○○

2 単元構成

3 本時の学習

(1) ○○○○○○○○○○○

はスペースを空ける部分です。

(1)は，半角にしてください。それ以外は，すべて全角です。

5 参考図書

参考図書等ありましたら、以下のように記載してください。

例) 生活科だよりNO.1より抜粋

5 参考図書

みぢかな飼育と栽培 8	アサガオ	国土社
そだててあそぼう 3 4	アサガオの絵本	農文協

最後に執筆にかかわった先生方のお名前を以下のような形で記載してください。

例) 生活科だよりNO.5より抜粋

【執筆にかかわった人】

指導	竹田 具治 (松尾小)	実践	熊田 春美 (中央小)	協力	鴨井 京子 (神前小)
	穴吹 眞二 (石田小)		平嶋 節子 (中央小)		栗尾 順子 (富田小)
	三木 省二 (栗林小)		大路 光代 (栗林小)		六車 真弓 (津田小)
		協力	久利 知光 (附高小)		山本 木ノ実 (松尾小)

※ 指導者の所には各郡市の支部長さん、副支部長さんのお名前を入れてください。

4 生活科だより検討会今後の計画

8月下旬	第2回 生活科だより検討会 提案	小豆支部(NO.33), さ・東か支部(NO.34) 高松西支部(NO.35)
7月6日	NO.31,NO.32完成 (6月末までに原稿提出)	
	第1回 定例会時に各郡市へ配布→各会員へ発送	
9月下旬	第3回 生活科だより検討会 提案	丸亀支部(NO.36),坂・綾支部(NO.37) 仲善支部(NO.38)
12月上旬	NO.33,NO.34,NO.35完成 (11月末までに原稿提出)	
	第2回 定例会時に各郡市へ配布→各会員へ発送	
1月上旬	NO.36,NO.37,NO.38完成 (12月末までに原稿提出)	
	第3回 定例会時に各郡市へ配布→各会員へ発送	

検討会に提案, 協議

実践, 及び執筆

原稿提出

(DATAと原稿で事務局・久利まで提出)

※できるだけ、メールでDATAを送信ください。

久利のメールアドレス: t-kuri@ed.kagawa-u.ac.jp

必要であれば修正及び再提出→完成原稿を担当者へ

定例会にて具体を発表

たよりを各郡市へ配布